

平成30年度の取り組みについて

1 「市民活動・市民協働の推進に関する数値等の調査の実施（市民協働係）

- [目的]
- ・長岡の協働がどの位進んだのか見える化
 - ・市民協働課が把握していない市民活動を掘り起こす
 - ・職員への意識付け

[今回調査の結果] 毎年この調査を実施し推移を分析していく。詳細は別紙のとおり。

2 協働センターの地域担当制導入と「協働センターPRパネル展」、支所等での出張相談窓口の開催

(市民協働係、市民協働センター)

過去の審議会での御意見

- ・オール長岡として活性化するために支所地域の活性化が必要。
- ・どこで誰が何をやっているかが見えると活動のヒントが得られ、連携のきっかけになる。

[日時・場所] 平成30年7月18日（水）～31日（火）…和島支所

平成30年11月5日（月）～12（月）…おりなす、道の駅とちお

平成30年11月14日（水）～12月3日（月）…おらたる

平成31年3月11日（月）～25日（月）…寺泊コミュニティセンター

[内容] 市民協働、市民活動に関するパネルを制作し支所地域でパネル巡回展を行い、併せて「出張相談窓口」を開設した。

[成果] ・市民協働の考え方や実践者の声を支所地域にも発信できた。

- ・センタースタッフの地域担当が各支所との関係性を強化できた。
- ・活動に関する相談（5件）、協働センターへの団体登録（7件）

[課題] 足を運ぶ市民が少なく、支所地域の活動団体の掘り起しや情報提供が十分できているかが検証できない。



和島支所でのパネル展

3 「協働マッチングリスト」の作成・配布（市民協働係、市民協働センター）

過去の審議会での御意見

NPOや団体の活動内容を把握することが大切。また、抱える問題などを把握して、活動の継続や充実につながる関係づくりができるとよい。

[内容] 他の団体に協力できること、してほしいことをまとめた「協働マッチングリスト」を作成。協働センター登録団体、コミセンほか関係各所に配布した。

[成果] 「団体の活動内容やニーズ」を見える化。コミセンに団体を紹介する例も数件あった。

[課題] 掲載数が少なく、団体同士が連携する事例がまだ少ない。

3 「ながおかソーシャルビジネス支援ネットワーク」への参加

（市民協働係、市民協働センター）

過去の審議会での御意見

NPOや団体がそれぞれのメリット・デメリットを示してアドバイスをもらえる相談場所があれば、新しく団体を作る人、活動で困っている団体がスキルアップできる。

[内容] 「ながおかソーシャルビジネス支援ネットワーク」とは、地域課題に取り組む企業やNPO等を、支援機関が連携してサポートするため立ち上がったネットワーク。大学、企業支援センター、金融機関等と共に、長岡市とNPO法人市民協働ネットワーク長岡も構成機関となった。

[成果] 「経営戦略セミナー」には50以上のNPO法人や企業関係者が参加。個別相談会ではNPO法人の立ち上げ、事業計画の策定など8件の相談を受けている。

[課題] 各構成団体ともそれぞれの役割がはっきり見えておらず、ネットワークの主旨や目的を模索しながら進めている。周知も十分でなく、存在が浸透していない。

12/17に開催した「経営
戦略セミナー」



4 組織改正後の市民協働課としての取り組み

(1) コミュニティセンターと市民協働センターの連携（市民協働係、コミュニティ推進係）

[内容] 地域のコミセンが市民協働センターのノウハウや人材ネットワークを活用するため、協働センター主催の組織運営講座にコミセン職員が参加したり、コミセン研修会で協働センタースタッフがファシリテーターを務めたりと、連携を深めた。

[成果] 地域が抱える悩みを市民協働センタースタッフが共有でき、今後の相談業務に活かせる。

[課題] 全コミセンとの万遍ないつながりを持ち、それぞれの課題に寄り添った伴走支援が求められる。

(2) 地域学びコーディネーター講座の開催（中央公民館）

[内容] 地域コミュニティの生涯学習事業を企画・運営する人材を育成する「生涯学習推進大学」に代わり、平成30年度から地域課題を解決するための実践力を養う「地域学びコーディネーター講座」を開催し、地域の担い手づくりに取り組んだ。

[成果] 本講座は2年で修了の1年目。受講者は自分の住む地域の課題に目を向けている段階。終了後は地域のリーダーとして事業実施の中心となることが期待される。十分な活躍の場が確保されるよう市も支援していきたい。

[課題] 受講者がリーダーとして自地域で活躍できる資質を高めることが求められる。



(3) まちなかキャンパス長岡の市民プロデュース講座（まちなかキャンパス長岡）

[内容] 市民力を生かしたまちづくりの一環として、「人に教えたい、役に立ちたい」という人や企画を実施したい人を募り、広報面や会場の提供等で後押し

して講座を開催する制度。

[成果] 市民ならではの視点で、様々な分野の講座をこれまでに50講座以上開催。講座のノウハウを学び、巣立っていった“卒業生”たちが新たに独自の講座やイベントを開催するなど、次の舞台で活躍している。

[課題] 申請数が減少してきたため、周知等を検討する必要がある。



○市民プロデュース講座

講座名：「安心・安全でおいしい『野菜』作り」

講師名：菌ちゃん野菜を作ろう会 神林正人

日時：平成30年4月13日（金）、20日（金）、
29日（日）